



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月5日

上場会社名 株式会社シグマクス・ホールディングス 上場取引所 東
コード番号 6088 URL <https://www.sigmaxyz.com/>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）太田 寛
問合せ先責任者 （役職名）代表取締役CFO （氏名）田端 信也 E-mail sigmaxyz_ir@sigmaxyz.com
半期報告書提出予定日 2025年11月7日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・証券アナリスト向け）※オンライン開催

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	12,558	0.0	3,198	12.7	3,380	12.6	2,264	△1.2
2025年3月期中間期	12,558	18.0	2,837	40.7	3,002	43.8	2,292	48.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 2,373百万円（8.9%） 2025年3月期中間期 2,178百万円（59.4%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	26.99	—
2025年3月期中間期	27.04	—

（注）1. 当社は、2024年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり中間純利益」を算定しております。

（注）2. 2025年3月期中間期及び2026年3月期中間期の潜在株式調整後1株当たり中間純利益は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	18,062	14,456	80.0	172.95
2025年3月期	19,740	14,272	72.3	170.50

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 14,456百万円 2025年3月期 14,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	21.00	21.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期（予想）	—	—	—	26.00	26.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,500	△6.8	6,100	8.2	6,300	7.2	4,400	0.1	52.53

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社(社名) ー、除外 1社(社名) 株式会社シグマクシス・インベストメント

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期中間期	89,000,000株	2025年3月期	89,000,000株
-------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	5,403,047株	2025年3月期	5,294,012株
-------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数(中間期)

2026年3月期中間期	83,909,655株	2025年3月期中間期	84,754,921株
-------------	-------------	-------------	-------------

(注) 1. 期末自己株式数及び期中平均株式数(中間期)の算定上控除する自己株式数には、株式給付信託(J-ESOP)制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有している当社株式及び業績連動型株式報酬制度の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行(信託口)が所有している当社株式を含めております。

(注) 2. 当社は、2024年12月1日を効力発生日として、普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期中平均株式数」を算定しております。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後の見通し及び前提条件に関しましては、添付書類3ページ

「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲の重要な変更)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(追加情報)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国の経済は米国の通商政策等による影響が自動車産業を中心にみられるものの、緩やかに回復しています。先行きについては、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果が緩やかな回復を支えることが期待されますが、米国の通商政策の影響による景気の下振れリスクには留意が必要です。加えて、物価上昇の継続が消費者マインドの下振れ等を通じて個人消費に及ぼす影響なども我が国の景気を下押しするリスクとなっています。また、金融資本市場の変動等の影響に引き続き注意が必要です。

このような環境の中、当社グループは様々な産業および企業の価値創造、社会課題を解決する新たな市場や事業の創出に取り組んでおります。

コンサルティングサービスにおいては、デジタル経済下で企業が取り組むべき主要なトランスフォーメーション(3つの変革)を掲げ、お客様の戦略策定から実行、成果の実現に至るまで常に伴走する「戦略実現のシェルパ」として、多様な能力を擁したプロフェッショナルが企業の課題解決と新価値の創造、企業間を連携した新事業や産業の共創を推進しています。2025年4月に株式会社シグマックス連結子会社の株式会社SXFの全株式を譲渡いたしました。これに伴い、第1四半期連結会計期間より当社の連結対象から除外されております。

なお、同5月に投資事業を停止し、7月に株式会社シグマックス・インベストメントを当社に吸収合併しました。これに伴い、同社の保有資産は当社に承継されております。投資事業の停止に伴い、当社グループの報告セグメントを、第1四半期連結会計期間より「コンサルティング事業」の単一セグメントに変更しております。

また、2025年10月に株式会社シグマックス・ホールディングス連結子会社の株式会社SXDの全株式を譲渡いたしました。これに伴い、第3四半期連結会計期間より当社の連結対象から除外されます。

当中間連結会計期間の業績並びに経営指標の状況は以下のとおりです。

当社グループの当中間連結会計期間の売上高は12,558,402千円(前年同期比0.0%増)となりました。基幹システムSaaS化などの大型案件が順次サービスインを迎え外注が減少しました。また、新規案件の開始が想定よりも遅延しています。産業別では運輸、金融、情報通信、小売、商社を中心とした顧客への基幹システムのSaaS化支援、デジタル・トランスフォーメーション推進支援、新規サービス立上げ支援、各種規制対応支援などのプロジェクトが事業に貢献しました。

売上原価は6,609,075千円(前年同期比4.4%減)、販売費及び一般管理費は2,750,867千円(前年同期比2.1%減)となりました。

売上原価の減少により、売上総利益は301,489千円増の5,949,327千円(前年同期比5.3%増)、営業利益は361,155千円増の3,198,459千円(前年同期比12.7%増)となりました。経常利益は378,226千円増の3,380,234千円(前年同期比12.6%増)となりました。売上高経常利益率は前年同期比3.0ポイント増の26.9%となりました。

株式会社SXFの全株式譲渡に伴い、40,541千円の特別利益(関係会社株式売却益)を計上いたしました。また、2025年6月末に株式会社シグマックス・インベストメントで保有していた上場株式の評価損が発生したため、108,000千円の特別損失(投資有価証券評価損)を計上いたしました。その結果、税金等調整前中間純利益は3,318,522千円(前年同期比12.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益につきましては、2,264,474千円(前年同期比1.2%減)となりました。なお、親会社株主に係る中間包括利益は2,373,404千円(前年同期比8.9%増)となりました。

人財採用につきましては、当中間連結会計期間において経験者24名、新卒81名が入社しました。また、2026年4月入社の新卒の採用は、目標の90名程度に向けて進んでおります。2025年4月入社の新卒社員の研修は順調に完了し、稼働を開始いたしました。2025年9月末時点のコンサルタント数は694名となっております。

プロジェクト満足度は97ポイントと高い水準を維持しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当中間連結会計期間末における総資産は18,062,865千円(前連結会計年度末比1,677,964千円減)となりました。主な要因は、現金及び預金の減少(前連結会計年度末比830,507千円減)、受取手形、売掛金及び契約資産の減少(前連結会計年度末比541,988千円減)、営業投資有価証券の減少(前連結会計年度末比3,797,562千円減)、投資有価証券の増加(前連結会計年度末比3,178,766千円増)であります。

(負債)

当中間連結会計期間末における負債は3,606,342千円(前連結会計年度末比1,862,450千円減)となりました。主な要因は、未払金の減少(前連結会計年度末比256,243千円減)、賞与引当金の減少(前連結会計年度末比791,563千円減)であります。

(純資産)

当中間連結会計期間末における純資産は14,456,523千円(前連結会計年度末比184,486千円増)となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月8日に公表いたしました連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、2025年11月5日に公表いたしました「業績予想の修正、自己株式の取得金額の増額に係る事項の決定及び自己株式の消却に係る事項の決定に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,945,511	6,115,003
受取手形、売掛金及び契約資産	2,949,592	2,407,604
営業投資有価証券	3,797,562	-
その他	381,310	442,801
流動資産合計	14,073,977	8,965,409
固定資産		
有形固定資産	575,020	847,145
無形固定資産		
ソフトウェア	244,887	242,661
ソフトウェア仮勘定	75,024	66,961
その他	4,685	4,071
無形固定資産合計	324,597	313,694
投資その他の資産		
投資有価証券	3,024,643	6,203,410
繰延税金資産	756,416	646,801
その他	986,175	1,086,405
投資その他の資産合計	4,767,235	7,936,617
固定資産合計	5,666,852	9,097,456
資産合計	19,740,830	18,062,865
負債の部		
流動負債		
買掛金	513,108	350,702
未払金	1,372,260	1,116,017
未払法人税等	1,238,732	1,042,050
賞与引当金	898,300	106,736
株式給付引当金	497,176	272,167
その他	261,906	264,719
流動負債合計	4,781,485	3,152,392
固定負債		
リース債務	16,262	13,397
株式給付引当金	329,981	76,400
役員株式給付引当金	75,789	100,850
資産除去債務	187,132	188,151
その他	78,140	75,149
固定負債合計	687,307	453,949
負債合計	5,468,792	3,606,342
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,000,000	3,000,000
資本剰余金	2,516,524	2,621,263
利益剰余金	12,486,582	12,977,838
自己株式	△3,763,801	△4,284,241
株主資本合計	14,239,304	14,314,860
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,732	141,662
その他の包括利益累計額合計	32,732	141,662
純資産合計	14,272,037	14,456,523
負債純資産合計	19,740,830	18,062,865

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	12,558,226	12,558,402
売上原価	6,910,388	6,609,075
売上総利益	5,647,838	5,949,327
販売費及び一般管理費	2,810,533	2,750,867
営業利益	2,837,304	3,198,459
営業外収益		
受取利息	1,130	6,617
受取配当金	-	48,436
投資有価証券売却益	156,195	92,953
雑収入	19,576	41,457
営業外収益合計	176,901	189,465
営業外費用		
支払利息	346	248
為替差損	4,319	819
自己株式取得費用	2,259	1,883
控除対象外消費税等	3,914	4,506
雑損失	1,357	232
営業外費用合計	12,197	7,690
経常利益	3,002,007	3,380,234
特別利益		
関係会社株式売却益	-	40,541
その他	935	7,669
特別利益合計	935	48,210
特別損失		
固定資産売却損	770	-
固定資産除却損	55,874	-
投資有価証券評価損	-	109,922
特別損失合計	56,645	109,922
税金等調整前中間純利益	2,946,297	3,318,522
法人税、住民税及び事業税	799,357	951,489
法人税等調整額	△145,156	102,558
法人税等合計	654,200	1,054,048
中間純利益	2,292,097	2,264,474
親会社株主に帰属する中間純利益	2,292,097	2,264,474

(中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	2,292,097	2,264,474
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△113,531	108,929
その他の包括利益合計	△113,531	108,929
中間包括利益	2,178,566	2,373,404
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,178,566	2,373,404

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	2,946,297	3,318,522
減価償却費	116,048	122,648
賞与引当金の増減額(△は減少)	357,934	△791,563
株式給付引当金の増減額(△は減少)	153,312	△12,131
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	31,154	25,060
受取利息及び受取配当金	△1,130	△55,054
支払利息	346	248
為替差損益(△は益)	4,319	819
固定資産売却損益(△は益)	△164	-
固定資産除却損	55,874	-
投資有価証券評価損益(△は益)	-	109,922
関係会社株式売却損益(△は益)	-	△40,541
投資有価証券売却損益(△は益)	△156,195	△92,953
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△450,290	-
売上債権の増減額(△は増加)	△169,925	509,560
前払費用の増減額(△は増加)	△10,059	△58,568
仕入債務の増減額(△は減少)	14,079	△145,421
未払金の増減額(△は減少)	△702,638	△251,571
その他	41,607	116,632
小計	2,230,570	2,755,609
利息及び配当金の受取額	1,130	55,054
利息の支払額	△346	△248
法人税等の支払額	△919,908	△1,114,049
法人税等の還付額	417,213	2,817
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,728,658	1,699,183
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△317,014	△339,150
有形固定資産の売却による収入	15,067	-
無形固定資産の取得による支出	△45,383	△45,129
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	-	63,338
投資有価証券の取得による支出	△936,717	△303,677
投資有価証券の売却による収入	504,621	1,018,712
その他の支出	△63,369	△103,609
その他の収入	29,602	28,432
投資活動によるキャッシュ・フロー	△813,192	318,916
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△4,669	△2,808
自己株式の取得による支出	△1,575,070	△1,056,475
配当金の支払額	△1,189,985	△1,788,503
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,769,726	△2,847,788
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,319	△819
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,858,579	△830,507
現金及び現金同等物の期首残高	7,171,106	6,945,511
現金及び現金同等物の中間期末残高	5,312,526	6,115,003

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、連結子会社であった株式会社シグマックス・インベストメントは、当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため連結の範囲から除外しております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2024年5月8日 取締役会決議	普通株式	1,191,101	27	2024年3月31日	2024年6月5日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金49,990千円が含まれています。

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 配当金支払額

(決 議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2025年5月8日 取締役会決議	普通株式	1,788,958	21	2025年3月31日	2025年6月6日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には株式給付信託(J-ESOP)制度及び業績連動型株式報酬制度において、信託口が保有する株式に対する配当金31,132千円が含まれています。

2. 基準日が当中間連結会計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当中間連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

※ 現金及び現金同等物の中間期末残高と中間連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
現金及び預金	5,312,526千円	6,115,003千円
現金及び現金同等物	5,312,526	6,115,003

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

「II 当中間連結会計期間(報告セグメントの変更等に関する事項)」に記載のとおりであります。

II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

当社グループは「コンサルティング事業」の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(報告セグメントの変更等に関する事項)

当社グループは、従来「コンサルティング事業」及び「投資事業」の2つの報告セグメントに区分しておりましたが、「投資事業」については2025年5月に事業を停止し、株式会社シグマクシス・インベストメントは2025年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したことを踏まえ、当社グループの事業展開、経営資源配分等の意思決定プロセスの実態の観点から、第1四半期連結会計期間より報告セグメントを「コンサルティング事業」の単一セグメントに変更しております。

この変更により、前中間連結会計期間及び当中間連結会計期間のセグメント情報の記載を省略しております。

(追加情報)

(停止した投資事業に関する投資有価証券、収益及び費用の計上区分)

当社グループの成長戦略に基づき、足元のグロース市場の環境もふまえ、2025年5月に投資事業を停止し、株式会社シグマクシス・インベストメントは2025年7月1日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅いたしました。

この結果、中間連結貸借対照表の当中間連結会計期間において、これまで流動資産に計上していた「営業投資有価証券」を固定資産の「投資有価証券」に計上しております。

また、中間連結損益計算書において、2025年5月8日以降、当該投資有価証券に係る損益を、「売上高」及び「売上原価」から「営業外損益」または「特別損益」に計上する方法に変更しております。